

▼地方の民間バス路線等を取り巻く状況は深刻

- モータリゼーションの進行（自動車依存）
- 沿線人口の減少
- 利用者の減少
- 運転手の不足

民間バス事業は
赤字、経営難

◆利用されないから、運行しても無駄…

民間路線バスは撤退。

◆市営バス化しても、他人事なので利用されない。

※氷見市では、廃止路線に5年にわたり

市営バスを運行したが、赤字が増える一方。

平成17年、市営バスの廃止を決定。

⇒地域運営NPO法人バスの始まり

地域活性化

地域住民

健康寿命延伸

世帯割の徴収等による安定経営の確保
(寄付、協賛、自主事業)

自分事
で
考える

地域のニーズに合った
ルート・時刻表等設定
による利便性向上

運賃納入
(サービスの対価)

有志による
立ち上げ

NPO法人

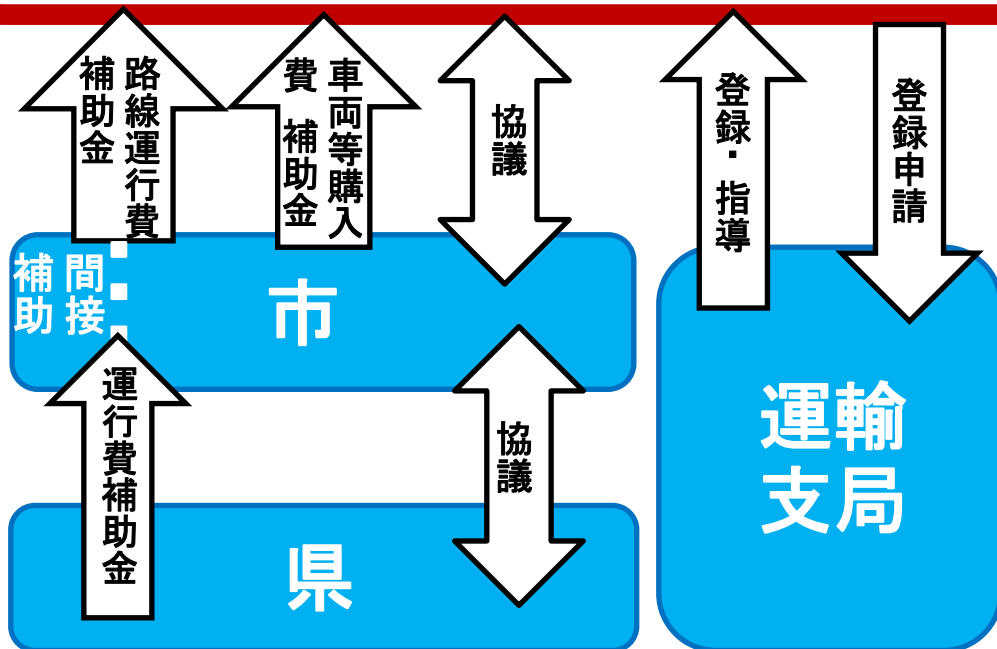
輸送サービス提供

氷見市地域公共交通
活性化協議会

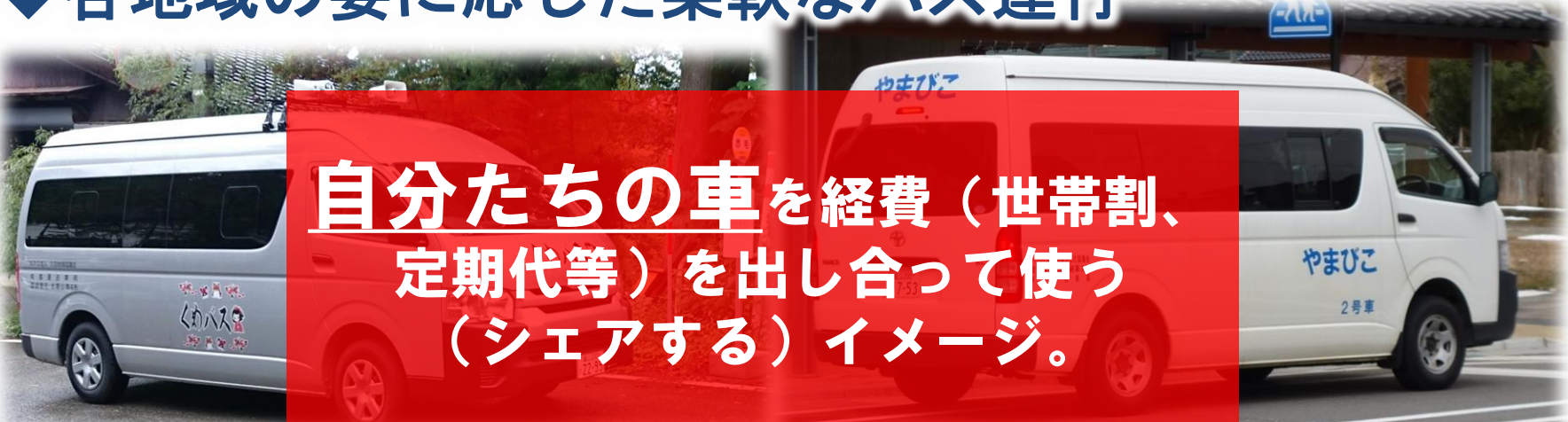
関係者間で必要性・対価の協議

(その他の関係者)

- ・一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体
- ・一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者
- ・一般旅客自動車運送事業者の運転手が組織する団体
- ・道路管理者、警察、学識経験者(福祉、観光、商工関係団体)



◆各地域の姿に応じた柔軟なバス運行



自分たちの車を経費（世帯割、定期代等）を出し合って使う（シェアする）イメージ。



持続可能な交通を実現するための一つの手法

▼各地域の住民で組織するNPOによる特色ある 取組・継続運営の工夫

◇特定非営利活動法人八代地域活性化協議会

- ・環境パトロール事業（ごみ除去や枝木伐採等の道路環境の整備）
- ・高齢者の免許返納支援（各種手続きの付き添い）
- ・地域住民の困りごと解決（家屋修繕、案内看板設置）
※活動への賛同者も多く、寄付金収入あり。

◇特定非営利活動法人余川谷地域活性化協議会

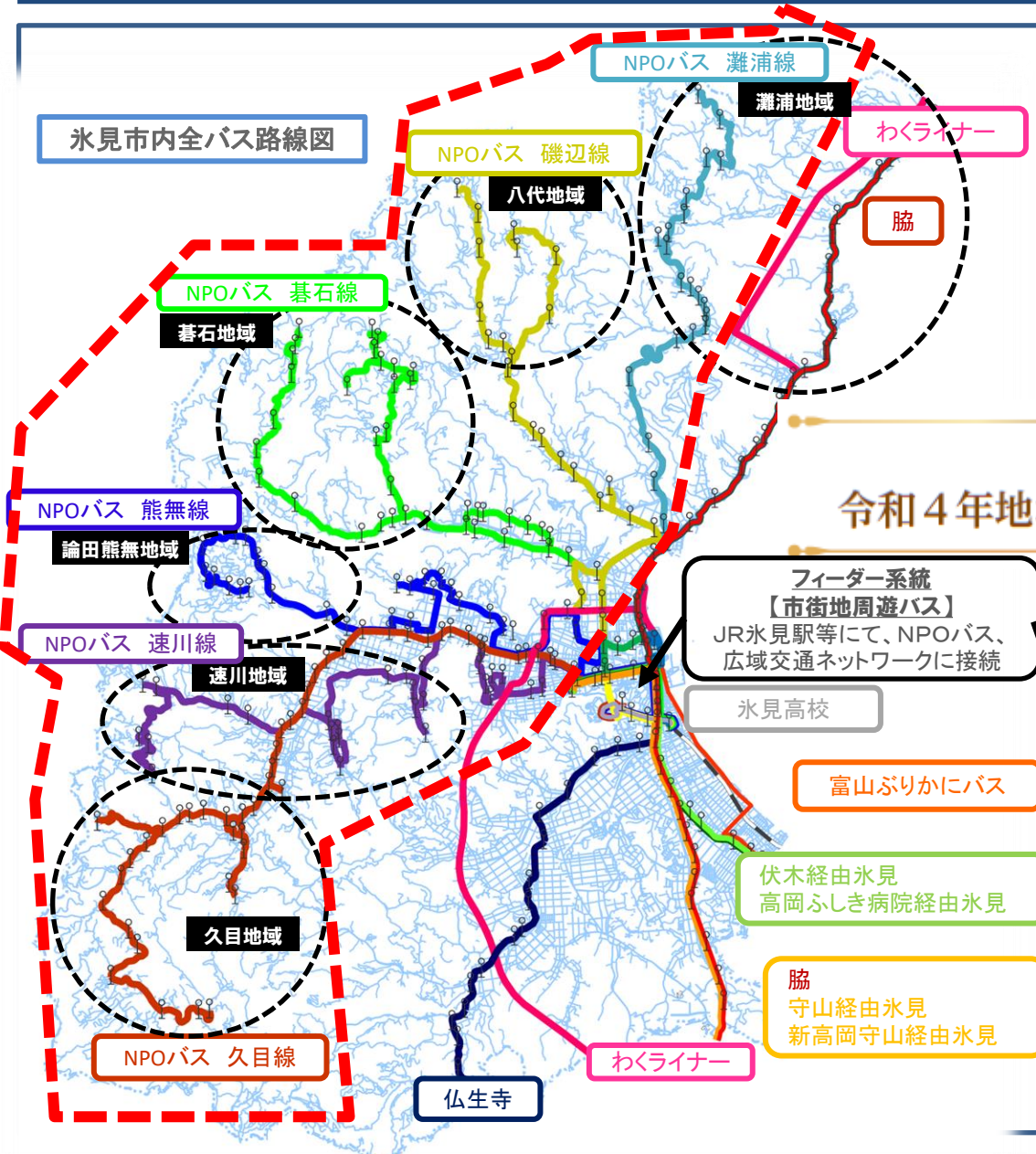
- ・一人暮らし高齢者の生活支援事業
※車いす乗車可能車両を所持。自主事業収入あり。
- ・農作物生産・販売事業着手

◇特定非営利活動法人上庄谷地域協議会

- ・地元小学校でのMM教育
- ・市内高校へのバス停設置（地域の通学利便性）



氷見市の公共交通の形



平成17年から、過疎の進む山あいの公共交通を地域と行政が、共に工夫しながら創り、長年維持してきた氷見市公共交通の完成形

市と市内NPOバス3法人が令和4年地域公共交通優良団体大臣表彰を受賞

Inset map showing routes through Himi City center: 氷見市民病院, 氷見市役所前, 大野新, 氷見営業所前, 氷見中央, 氷見駅前, 氷見本町, 氷見市民会館前, 朝日丘小学校口, 氷見駅, 氷見駅入口.

時間 24分
時間 12分
時間 35分

Photo of award ceremony: 氷見市市長 (市長), 国土交通大臣 (国土交通大臣), 氷見市NPOバス3法人代表者 (NPOバス3法人代表者), 国土交通大臣表彰 (国土交通大臣表彰).

▼NPOバス沿線の高齢者人口（各路線主要地域）

路線名	主要地域	世帯数 (世帯)	人口 (人)	高齢者人口 (65歳以上)	高齢者の 割合
磯辺線 (H17.10～)	八代地域	207	396	259	65.4%
灘浦線 (H24.4～)	女良地域	78	141	88	62.4%
碁石線 (H22.10～)	碁石地域	268	559	337	60.3%
久目線 (H28.10～)	久目地域	466	1,127	574	50.9%
速川線 (H30.10～)	速川地域	445	1,181	577	48.9%
熊無線 (H30.10～)	熊無地域	424	1,156	532	46.0%

⇒先発のNPO法人沿線ほど高齢化と人口減少が進展。

⇒定時定路線では「空車運行の増加（便の半数空車）」

⇒高齢化による「バス停への移動困難」

デマンド運行による課題解決の試み
(碁石線：余川谷NPO法人)

デマンド交通（チョイソコ）

NPO法人余川谷地域活性化協議会が、この課題解決に取り組むため、民間企業と連携し、令和5年1月から約2か月の試験的な区域運行(ドアtoドア方式のデマンド運行)を実施。

●連携民間企業等

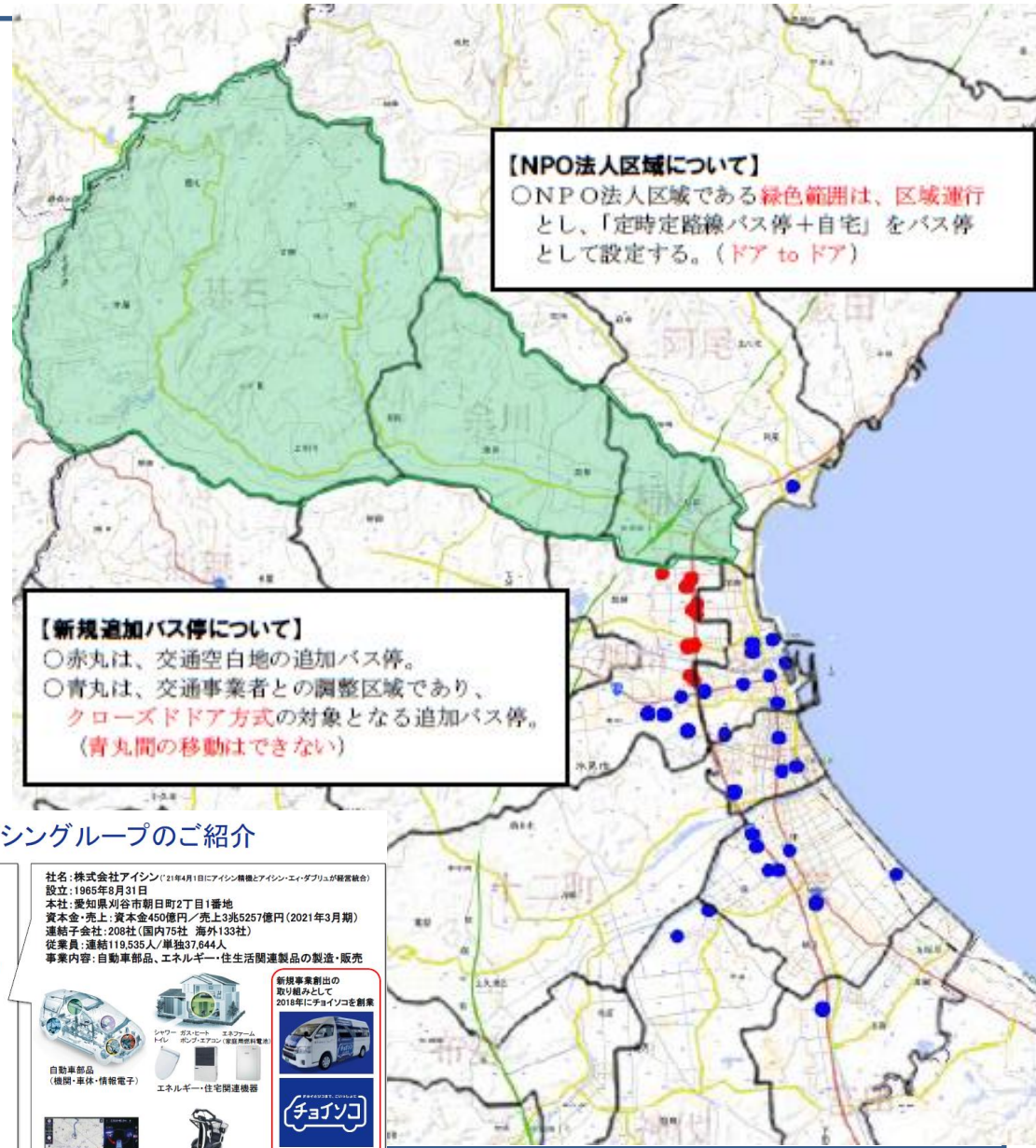
ネットヨタ富山株式会社

- ・令和4年度中山間地域等買い物弱者対策モデル実証業務委託事業(県地域産業支援課)を活用
- ・アイシンのチョイソコ

●課題解決の方向性

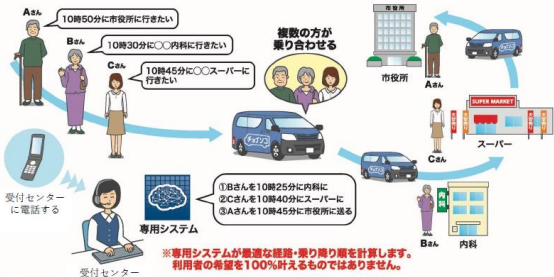
- ①空車運行の効率化
- ②バス停移動困難の解決(ドアtoドア)や目的地設定による利便性向上と定期券利用増加による路線収入増

⇒デマンド運行には、システム利用料やコールセンター人件費などの費用がかかり、これ以上の地域負担は難しく、地域の運行財源に課題がある。



チョイソコの特徴① 高齢者利用に最適化された運行システム

チョイソコは会員登録された利用者から乗車依頼を受けし、最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地まで乗り合い送迎でお運びするしくみです。



アイシングループのご紹介

トヨタグループ TOYOTA

- トヨタ自動車株式会社
- 株式会社豊田自動織機製作所
- 株式会社デンソー
- 株式会社アイシン
- 愛知製鋼株式会社
- 株式会社ジェイテクト
- トヨタ車体株式会社
- 豊田通商株式会社
- トヨタ紡織株式会社
- 東和不動産株式会社
- 株式会社豊田中央研究所
- トヨタホーム株式会社

トヨタグループ16社

社名:株式会社アイシン(21年4月1日にアイシン精機とアイシン・エンダブリュが経営統合)
 設立:1965年8月31日
 本社:愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
 資本金・売上:資本金450億円/売上3兆5257億円(2021年3月期)
 連結子会社:208社(国内75社 海外133社)
 従業員:連結119,535人/単独37,644人
 事業内容:自動車部品、エネルギー・住宅関連製品の製造・販売



新規事業創出の取り組みとして2018年にチョイソコを創案

3年連続 国土交通省 国土交通白書 国土交通政策推進賞